

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【公開番号】特開2008-595(P2008-595A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-153450(P2007-153450)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月7日(2010.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

一般的には、入射する放射線量は、各々の患者毎に又は各回の撮像毎に調節しなければならない。従来、AEC制御センサは、撮像用放射線検出器から独立に配置されている。放射線を約5%だけ減弱させる複数の薄型AECセンサが、撮像用放射線検出器の前面に別個に配置される。AECセンサからの出力に基づいて放射線の入射が停止され、これにより撮像に適した放射線量が得られる。AECセンサとしては、電離箱を用いることにより放射線を電荷として直接抽出するセンサ、又は蛍光物質によって放射線を可視光へ変換し、光ファイバを介してこの可視光を抽出して光電子増倍管に可視光を電荷へ変換させるセンサが用いられている。このアナログ出力は長いケーブルを通ってX線制御へ送られ、ここで信号は所要の照射線量を表わす基準電圧と比較される。電離箱に対する典型的なインターフェイスは、入力として電離箱選択、照射開始信号及び電源装置を、また出力としてアナログ積算輝度を含んでいる。

【特許文献1】米国特許7177392号明細書

【非特許文献1】“The Scientist and Engineer's Guide to Digital Signal Processing”、Steven W. Smith、1998年

【非特許文献2】“Handbook of Medical Imaging Display & Pacs”、Jacob Beutel、SPIE Press、(ISBN:0819436232)2000年